

InterFM897

The225th Programming Deliberation Committee

第 225 回番組審議会 議事録

開催日 2018 年 11 月 13 日 (火)

出席者：湯川れい子 委員長、亀渕昭信 委員、佐藤信夫 委員、山田吉彦 委員、吉成伸幸 委員

1、

議題：番組審議：「JAGUAR LAND ROVER presents JAZZ ain't Jazz」

毎週日曜日：16:00 – 17:00

DJ : 沖野修也 (KYOTO JAZZ MASSIVE)

会社からの説明

DJ、プロデューサー、さらに「KYOTO JAZZ MASSIVE」としてのアーティスト活動も行う“クラブ・ジャズ・シーン”中心的存在の沖野修也が、番組が考える「現代のジャズ」の魅力を様々な角度から紹介。

何となくジャズが好きな人、また「ジャズって何？」という 全くの初心者リスナーにも、それぞれに新たな発見が必ずある 1 時間。

委員からの意見・感想

審議委員 A

JAZZ という一見難しく感じそうな音楽をわかりやすく説いているところが良いと思った。時間帯も考慮すれば、わかりやすく紹介するのもよいが、時には JAZZ 専門番組らしく、コアな要素を入れてもよいと思う。

審議委員 B

日曜夕方の JAZZ プログラムをやっているのは InterFM897 だけ。
いい意味でらしさが出ている。
DJ がしゃべり手というより音楽プロデューサーであるため、音楽解説が多いように感じる。

審議委員 C

もっと徹底したコアな JAZZ 番組にしてもよいのではないだろうか。
曲の解説を減らして、曲紹介だけでもよいと思われる。

審議委員 D

DJ 沖野修也の幅広い選曲、魅かれるものを感じた。
自宅発掘などの表現を使ってましたが、身边にある音楽をリスナーに伝えたいという沖野氏の思いが伝わってくる良い番組。
ただトークの中で、原稿読みの箇所は気になるので改善した方が良い。

審議委員 E

選曲は非常によく、聞きやすさを感じた。
楽曲紹介、アーティスト紹介をもっとわかりやすくしてもらえると、より JAZZ が身边に感じられ、浸透すると思われる。
JAZZ を知らない人が、聞いていくうちに知りたくなる、ようなトークを期待したい。
徐々にファンが増えていくと JAZZ がより一般化するようと思われる。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上